



旭地区にある「押井の里」は縄文土器が出土する遺跡があります。つまり、3,000年前から住み良いところでした。それがこの50年で消滅の危機に。辰吉さんたちは考えに考え抜き、「農の営みを諦めた時、集落は消滅に向かう」と、農を守るための「源流米ミネアサヒプロジェクト」を開始しました。

そして《自給家族》という仕組みを考え出しました。生産者と消費者がひとつの家族としてお米を自給する仕組みです。詳しくはWebサイトをご覧ください。そこにある動画は感動的です。(左下のQRコード参照)

またミネアサヒは「幻のお米」と呼ばれ、ほとんど流通しておらず自給に向いていました。



企画は当たりました。家族募集はすぐに集まりました。次は他の地域に広げることです。《自給家族》はMYパワーの理念、目的とも同じです。しっかり連携をしていきます。なお、この取り組みを行う「押井営農組合」の施設は、電気の切り替えもいただいており、主要メンバーはMYパワーの株主でもあります。(経営企画部：萩原)

メンバー紹介 ③ 受け入れて的確に表現 村田 元夫 (経営企画部/地域課題解決部 他)

およそ4年前、MYパワーの生みの親の一つである「三河の山里課題解決ファーム」に参画。そして豊田市、中部電力との2年の協議の結果、MYパワーが難産の末に誕生し出港することができました。村田さんは岸壁から船出を見送るつもりが、見送りのテープは太いロープに置き換わり、MYパワーという船に引っ張られて乗船し、現在はMYパワーの事業にどっぷり浸かっています。



元々(現在も)コンサルタント会社の社長。「おいでん・さんそんセンター」の理事も務める三河の山里が大好きな人です。豊富なコンサルの経験と、膨大な読書量から繰り出される新しいアイデア。それを文字化して委託事業の申請書までを書き上げる能力は私たちのメンバーの中でピカイチです!

MYパワーは地域課題解決のお手伝いを目的に作られた組織です。多様な地域課題の解決には、地域の方々との信頼を醸成する対話が基本です。ある人は「村田さんはしゃべらないコンサルタントだ」と評します。しかし一度口を開けば、その内容は相手の気持ちを汲んだ的確な言葉となって表れます。還暦を過ぎたとは思えないその容姿と頭脳明晰さが、MYパワーの組織の基礎づくりに貢献しています。

(文責：代表取締役 早川富博)

◆ 編集後記～ MYパワーの本四季報は今回が「vol.6」。先回の「vol.5」が発行された後、「あれ??」と思ったのですが「vol.4」が存在しません。そう、単なるミスです… もしも「vol.4」をお探しの方が居ましたらすみません。誤字脱字などないよう読み重ねていますが、まさかそんな所に落とし穴があったとは。(経営企画部/広報担当：庄司)



株式会社 三河の山里コミュニティパワー
〒444-2351 愛知県豊田市岩神町仲田20 足助病院内(サテライト・サロン)
Tel.0565-61-2773(たすけあいプロジェクト事務局) Fax.0565-61-2772
http://www.my-power.jp E-mail:info@my-power.jp

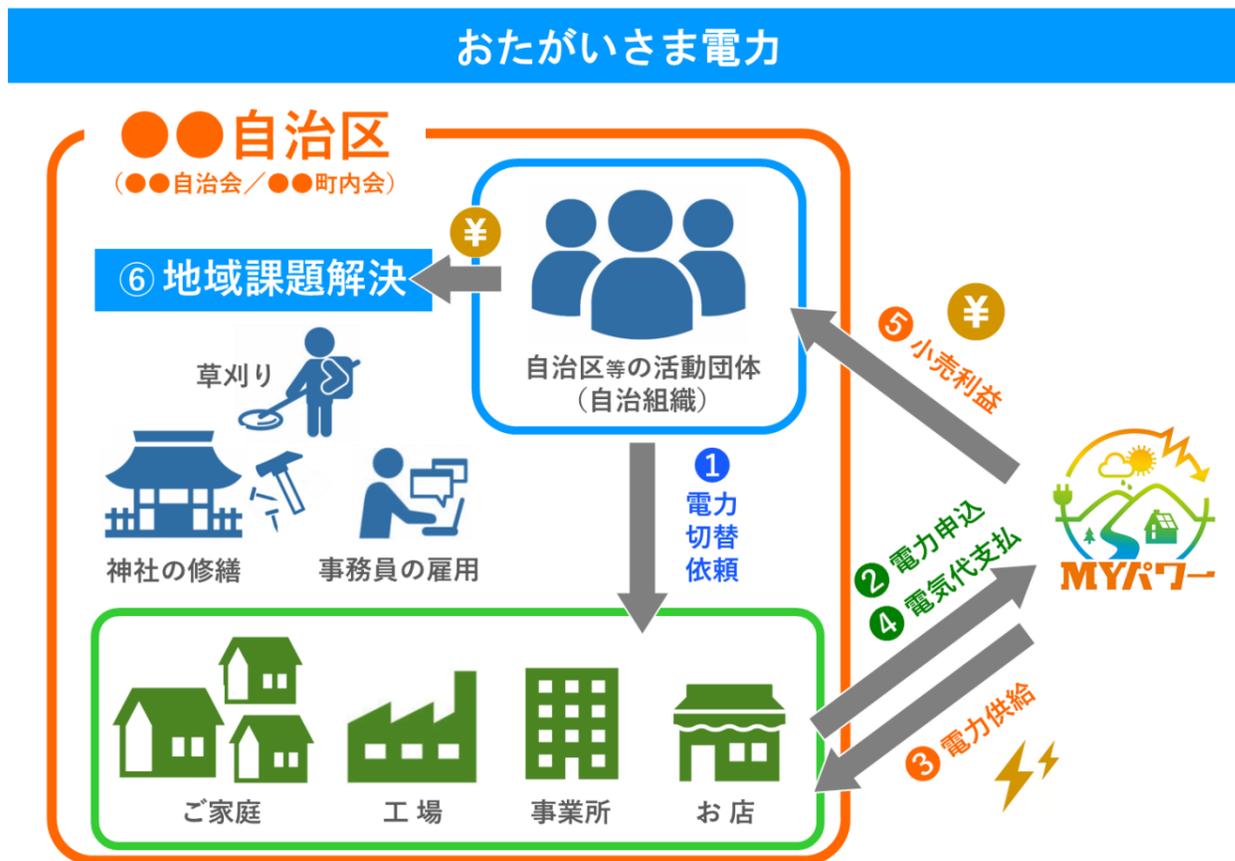


地域の自主財源づくりをお手伝いします ～ おたがいさま電力 ～

2021年5月号では、<「地域の人手と、地域のお金で」>ということをお話しました。地域の課題解決を進める中心になっていただくのは地域のみなさんです。そのための道具としてMYパワーを使っていただきたいというお話をさせていただきました。今回はそれを実現するための、具体的な方法として「おたがいさま電力」という考えをお伝えします。

例えば、自治区などの地域単位で電気をMYパワーに切り替えることをしていただきます。そこで得られた利益(そんなに多くはないですが)は、地域で決めて自由に使うことができます。例えば、草刈りで困っている地域は草刈りの費用に充填したり、積立ててまとめて神社やお社の修繕費用に充てることもできます。すなわち、地域の自主財源ができるのです。しかも、電気は基本的にずっと使い続けますので、一度電気の切替えを行っていただければ、ずっと自主財源が得られ、地域の課題解決に充てていくことができるのです。

山村地域では今後、地域の主要な担い手の高齢化によって、これまでできていた活動が難しく(中面に続く)



スタッフのひとこと 本誌のメンバー紹介欄で私の番になり、「自分で自分の紹介文をどう書いたらいいんすか??」と言い漏らしたら、社長の早川さんが書いてくれることに。すごくうれしかったんだけど、過分で実態が追いつかない!(村田)

なっていくことも考えられます。また世帯数も減少していくと、**自治区費等の世帯負担も増えていく**かも知れません。そのような**地域の今後の不安要素を補う**ためにも、「持続的な自主財源づくり」のひとつとしてMYパワーを活用いただければと思っています。

ちなみに、MYパワーの電気料金は**中部電力ミライズさんと同等**です。**停電時の対応もこれまで通り**中部電力パワーグリッドさんが行いますので、MYパワーに切替えても電力供給の面で大きく変わることはありません。変わるの**「地域組織に継続的な自主財源が創られる」**こと。そしてその財源で「地域の課題解決などの活動がしやすくなっていく」ことです。

私たちはこの考え方を「おたがいさま電力」と呼んでいます。**地域の住民や事業者が「おたがいさま」の気持ちと行動で地域を元気にしていく**。この考え方をもとに、地域の自治組織が一時的な補助金などに頼り過ぎることなく、地域の課題解決などの活動が継続していけるものと考えています。

すでに、旭地域の敷島自治区では、おたがいさま電力の考え方をを使って、「**支え合いプロジェクト**」を推進するための費用に充てようと**具体的な検討がされており**、その他いくつかの地域でも検討が始まっています。

(エネルギー事業部：関原)

初めての地域合意！「山中地区」全体で電力切り替え



足助地区・旧山中区は、現在8世帯、13名の集落。著しい人口減少で自治区に役員を出す人数が確保できなくなり、平成17年度から上八木町に入りました。しかし**現在も山中地区として集会**は行われているようです。

そんな山中地区との出会いはひょんなことから。昨年11月、大多賀自治区で草刈り作業を行うと、日本福祉協議機構のメンバーと考えていたところ、秋口ということもあり草刈りができる場所が見当たらず。代表の早川が、大多賀に隣接する山中地区の小澤晃さん(写真)に相談して「**だったら山中で!**」となり、実施しました。

そんな出会いから1年。再び早川から小澤さんに「**山中の世帯全体で電気の切り替えを**してもら

えないか」と相談。山中地区の集会でみなさんにお話しする機会を頂きました。電力切替については、各自家族にも相談したうえで次の集会で回答を頂くこととなり、その結果、**ほぼ全世帯が切り替えに合意**していただくことに！

小澤さん自身も正直驚かれたとのこと。「**先祖代々管理してきた農地を**どうにか守っていきたい」といった思い、**通院や買い物の足の確保が不安**といった気持ちなどが重なったことだと思う」と小澤さんは振り返ります。

★山中地区にある小澤さん経営の「喫茶 杉の子」は、地域の人達が集まれる**貴重な憩いの場**。ここの食事は、小澤さんが目の前の家庭菜園で作った**農薬や化学肥料を使わない野菜**を使用。絶品です！
 ← 喫茶杉の子の紹介サイト (エネルギー事業部：庄司)

年末年始休暇のお知らせ

12月28日(火)	29日(水)	30日(木)	31日(金)	1月1日(土)	2日(日)	3日(月)	4日(月)
通常営業	年末 休暇			年始 休暇			通常営業

スタッフの
ひとこと

最近キャンプブームですね！キャンプグッズもかわいくて私もキャンプデビューしようかとYouTubeで勉強中。自然のなかで食べるごはんやお酒は絶品ですよ♪(林)

単3電池で見守り？ 簡易な見守りサービス推進中！

見守りサービスのお話させていただくと、多くの方が「**まだいいわ〜**」とおっしゃいます。そうですね〜。みなさん足腰も丈夫で、お話していても**私よりハツラツ**とされています。元気な方には緊急時のかけつけや、24時間体制の手厚い見守りは必要と感じられないかもしれません。

が！ そんな**元気な方にこそオススメ**したいのが「みまもり電池」です。「みまもり電池」の仕組みは簡単。①**テレビリモコンや廊下用センサーライト等、いつも使用している家電の電池を「みまもり電池」に変える**、②**見守る人(ご家族)のスマホで家電の使用状況を確認**する、これだけです！



工事や慣れない機械の操作は不要で、普段の生活に溶け込んでいる家電を使いながら、**安心感を得る**ことができます。そして**元気な時から使う**からこそ、日々の生活サイクルを把握し、**生活の乱れや体調変化の前兆など「いつもと違う」**に気づくことができます。

興味をお持ちの方には資料をお送りします。また事務局にも実物がありますので、お越しいただくのも大歓迎です！

← 単4電池を専用のケースに入れると「みまもり電池(単3)」に！

(たすけあい事業部：浦野)

足助の土木・建設会社「小松」さん、電力を切り替えて頂きました！

足助地区・近岡町にある(株)小松は、**官公庁を中心とする土木水道工事をメインに、各種土木・建設工事を手が**けられています。また「カパラグリップ」や「クリアグリップ」といった特殊な工法による**床のすべり止め工事**なども行われています。高齢者の多い施設やご家庭など、転倒事故防止のためにも、とても重要な技術だと思います。

また、農林水産省林野庁が開催している「**治山林道工事コンクール**」にて、小松さんが施工管理を行った**林道工事が入賞**するなど、数多くの表彰実績もあります。

地元建設会社の多くは、MYパワーの株主にもなっており、我々も、これから地域で**小水力発電などの電源開発**を行っていく際に、山のことを知り尽くしている地元の建設会社は**重要なパートナー**だと考えています。(エネルギー事業部：関原)

(株)小松さんWebサイト →



スタッフの
ひとこと

昼間はまだまだ暑いですが、朝夕は涼しくなりましたね。暑いのが苦手な夏の散歩を嫌がっていた我が家のトイプーも、気持ち良さそうに散歩するようになりました。(西川)